

- 問1 ロシアの広大な国土に見られる自然環境と植生について述べた文として、タイガの特色を正しく説明しているものを選びなさい。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| 1. 冬の厳しい寒さに耐えられるマツやモミなどの針葉樹が広がっている。 | 2. 乾燥した気候に適応した、短い草が生える広大な草原地帯が続いている。 | 3. 一年中氷に覆われ、夏の間だけ地衣類やコケ類が生育する荒原となっている。 | 4. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んな硬葉樹林となっている。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
- 問2 アラビア半島周辺や、サハラ砂漠周辺に位置するトンプクトウといった都市を含む地域において、歴史的に共通して広く信仰されている宗教の名称として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|-----------|
| 1. キリスト教 | 2. ユダヤ教 | 3. イスラム教 | 4. ヒンドゥー教 |
|----------|---------|----------|-----------|
- 問3 熱帯の気候のうち、バンコクのように「一年中気温が高い」という条件に加え、「季節風などの影響で雨季と乾季がはっきりと分かれる」という特徴を持つ気候帯を何と呼びますか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. サバナ気候 | 2. 熱帯雨林気候 | 3. 地中海性気候 | 4. 温暖湿潤気候 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
- 問4 世界のエネルギー事情に関連して、各国の地理的条件と発電エネルギー源の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. オランダでは、海沿いの強い風が吹く地理的条件を活かし、風力発電が17.6パーセントを占めるなど他国に比べて高い割合となっている。 | 2. 日本や韓国のような資源の乏しい国々では、地理的条件に関わらずブラジルと同様に水力発電を最も主要なエネルギー源としている。 | 3. オランダでは、国土の多くが平坦で水路が多いことを活かし、水力発電が電力供給の約6割を占める世界最大の水力発電国となっている。 | 4. ブラジルでは、広大な土地と安定した地質を活かして原子力発電の建設を進めており、水力発電を上回る主要な電源となっている。 |
|---|---|---|--|
- 問5 ユーラシア大陸北部や北アメリカ北部の高緯度地域に広がり、冬の寒さが極めて厳しく長い一方で、夏はある程度気温が上がる気候の名称と、そこに広がる植生の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1. 温帯 — ぶどうやオリーブが見られる地中海性植生 | 2. 冷帯（亜寒帯） — タイガと呼ばれる針葉樹林 | 3. 寒帯 — 草やこけ類を中心とするツンドラ植生 | 4. 熱帯 — 熱帯雨林と呼ばれる常緑広葉樹林 |
|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|
- 問6 世界の宗教分布に関する統計資料において、ロシア全域や東ヨーロッパ、バルカン諸国が同一の宗教分布域として示されている場合、その地域で共通して信仰されているキリスト教の宗派について、正しい説明はどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 東ローマ帝国の文化を継承し、ロシアやギリシャなどで厚く信仰されている正教会である。 | 2. 北ヨーロッパやアメリカなどで多く信仰され、個人の信仰を重視するプロテスタントである。 | 3. イタリアやフランスなど、南ヨーロッパを中心に発展したカトリックである。 | 4. 中東や北アフリカを中心に広がり、中央アジアでも信仰されているイスラム教である。 |
|--|---|--|--|
- 問7 熱帯や亜熱帯地域において、かつての植民地支配を背景に開かれた大規模農園のことを何と呼びますか。茶やコーヒー、天然ゴムなどの特定の作物を、広大な土地で輸出用に単一栽培する形態を指します。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|----------|-------------|
| 1. 混合農業 | 2. 放牧 | 3. 自給的農業 | 4. プランテーション |
|---------|-------|----------|-------------|
- 問8 ある地点の1月から12月までの月別平均気温を記録した統計において、折れ線グラフが年間を通じて25度から27度の範囲をほぼ水平に推移していることが確認されました。この地域の気温の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 気温の年較差が大きく、冬の寒さが非常に厳しい。 | 2. 気温の年較差が小さく、四季の変化がほとんどない。 | 3. 夏と冬で気温の差が激しく、降水量によって季節が決まる。 | 4. 高緯度地域に位置するため、年間を通じて気温が低い。 |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|------------------------------|
- 問9 北アフリカのエジプト付近に見られる、年間の気温が20度から30度前後と高く、すべての月の降水量がほぼ0mmである地域について、その気候と植生の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 短い雨季があるため、丈の短い草が広がるステップ気候 | 2. 夏に乾燥し冬に雨が多いため、オリーブなどの硬葉樹が育つ地中海性気候 | 3. 一年中気温が高く雨が多いため、多種多様な樹木が密生する熱帯雨林気候 | 4. 降水量が極めて少ないため、植物がほとんど育たない砂漠気候 |
|------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
- 問10 世界の住居はその土地の自然環境に合わせて工夫されています。高温多湿な気候の地域と、地下に永久凍土が広がる地域の両方で見られる「高床住居」の説明として、適切なものはどれですか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 高温多湿な地域では通風を確保するために、永久凍土地帯では建物の熱による地盤融解を防ぐために採用されている。 | 2. 高温多湿な地域では日差しの照り返しを防ぐために、永久凍土地帯では強風による建物の倒壊を防ぐために採用されている。 | 3. 高温多湿な地域では害獣の侵入を防ぐために、永久凍土地帯では積雪で出入り口がふさがるのを防ぐために採用されている。 | 4. 高温多湿な地域では高潮の被害を避けるために、永久凍土地帯では地面からの冷気を遮断するために採用されている。 |
|--|---|---|--|
- 問11 ある都市の気候統計において、月平均気温が一年中25度から30度の間で推移しており、5月から10月にかけて降水量が集中する一方で、11月から4月は極端に降水量が少なくなっています。このような気候の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|-----------------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| 1. 夏は高温で乾燥し、冬に一定の降水が見られる。 | 2. 季節による気温の変化が大きく、一年を通して一定の降水がある。 | 3. 一年を通して降水量が多く、密林が形成される。 | 4. 雨季と乾季がはっきり分かれており、疎林と草原が広がる。 |
|---------------------------|-----------------------------------|---------------------------|--------------------------------|
- 問12 経済活動の拡大に伴い、大気中の温室効果ガスの濃度が高まることで生じる「地球温暖化」がもたらす影響として、世界各地の低地や島国で最も懸念されている状況はどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 有害な紫外線が地表に直接届くようになり、皮膚がんなどの健康被害が増える現象 | 2. 大雨によって土壌の塩分が流され、農作物が育たなくなる現象 | 3. 海面上昇による浸水や、国土そのものの消失 | 4. 過放牧や森林伐採が原因で、土地が乾燥し砂漠化が広がる現象 |
|--|---------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
- 問13 世界の諸地域では、宗教が人々の食文化や産業に大きな影響を与えています。アルジェリアなどの国々において、教義上の理由から「豚を飼育すること」や「豚肉を食べること」が禁忌とされている宗教の名称を答えなさい。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|-------|
| 1. キリスト教 | 2. イスラム教 | 3. ヒンドゥー教 | 4. 仏教 |
|----------|----------|-----------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冬の厳しい寒さに耐えられるマツやモミなどの針葉樹が広がっている。	冷帯（亜寒帯）は、短い夏と非常に寒さの厳しい冬が特徴です。このような気候条件では、広葉樹よりも寒さに強い針葉樹が育ちやすく、シベリアから北ヨーロッパ、北アメリカ北部にかけて広大な針葉樹林帯が形成されます。なお、短い草の草原はステップ、苔などの地衣類が見られるのはツンドラ、オリーブなどは地中海性気候の植生です。
問2	答え 3 イスラム教	アラビア半島で成立したイスラム教は、商業活動などを通じてサハラ砂漠を越えたアフリカ大陸北部へも伝わりました。トンブクトゥはかつてイスラム学問の中心地として栄えた歴史を持ち、現代でもこの地域ではイスラム教が文化や社会の基盤となっています。
問3	答え 1 サバナ気候	熱帯は大きく二つに分類されます。一年中高温多雨なのが「熱帯雨林気候」であるのに対し、バンコクのように気温が高い状態は続くものの、降水量の多い雨季と極端に少ない乾季が明確に分かれる気候は「サバナ気候」と呼ばれます。
問4	答え 1 オランダでは、海沿いの強い風が吹く地理的条件を活かし、風力発電が17.6パーセントを占めるなど他国に比べて高い割合となっている。	発電エネルギー源の構成（エネルギーミックス）は、各国の地形や気候などの地理的条件に大きく左右されます。オランダは北海からの強い風を利用できるため風力発電が盛んです。一方、ブラジルは豊かな水資源を背景に水力発電が約63パーセントと主流であり、原子力や火力が筆頭となっているわけではありません。
問5	答え 2 冷帯（亜寒帯） — タイガと呼ばれる針葉樹林	冬の寒さが厳しく長い一方で、夏はある程度気温が上がる気候は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この地域にはタイガと呼ばれる広大な針葉樹林が広がっています。
問6	答え 1 東ローマ帝国の文化を継承し、ロシアやギリシャなどで厚く信仰されている正教会である。	正教会は、歴史的にコンスタンティノープル（現在のイスタンブール）を首都とした東ローマ帝国の影響を強く受けています。この影響から、キリル文字を使用するロシアやウクライナ、南方のギリシャやバルカン半島諸国へと広がりました。カトリックが主にラテン系の南ヨーロッパ、プロテスタントがゲルマン系の西・北ヨーロッパで多いことと対比して理解することが重要です。
問7	答え 4 プランテーション	このような農園は、かつてヨーロッパ諸国が植民地を支配していた時代に、本国へ輸出する原料や商品作物を大量に生産するために作られました。熱帯の気候を利用し、安価な労働力と大規模な資本を投入して、特定の作物のみを栽培（モノカルチャー）するのが特徴です。
問8	答え 2 気温の年較差が小さく、四季の変化がほとんどない。	月別平均気温の推移が水平に近いということは、月ごとの気温差がほとんどないことを意味します。このような状態を「年較差が小さい」と表現します。赤道に近い熱帯収束帯の影響を受ける地域では、日本のような明確な四季（春夏秋冬）による気温の変化は見られず、一年中が「夏」のような気候となります。
問9	答え 4 降水量が極めて少ないため、植物がほとんど育たない砂漠気候	年間を通じて降水量がほぼ0mmという極端な乾燥状態は、乾燥帯の中でも砂漠気候の典型的な特徴です。植物の生育には一定以上の水分が必要ですが、この気候区では降水量が極めて少ないために植物がほとんど育たず、砂や岩石に覆われた景観となります。わずかに草が生えるステップ気候とは、雨季の有無によって区別されます。
問10	答え 1 高温多湿な地域では通風を確保するために、永久凍土地帯では建物の熱による地盤融解を防ぐために採用されている。	高床住居は、地域ごとに異なる目的で発達しました。東南アジアやオセアニアなどの高温多湿な環境では、床を高くすることで風通しを良くし、湿気や暑さを防ぐ役割があります。これに対し、シベリアなどの永久凍土地帯では、室内の熱が地面に伝わると凍土が融けて地盤が不安定になるため、空間を設けて熱を逃がす必要があります。単なる形状の暗記ではなく、それぞれの環境に応じた合理的な理由を理解することが重要です。
問11	答え 4 雨季と乾季がはっきり分かれており、疎林と草原が広がる。	一年中気温が高いというデータから熱帯であることが判断でき、さらに降水量が特定の時期に集中し、別の時期に極端に少なくなるという記述は、サバナ気候特有の「雨季」と「乾季」の存在を示しています。この気候下では、樹木がまばらに生える「疎林」と長い草の「草原」が組み合わさった景色が特徴となります。
問12	答え 3 海面上昇による浸水や、国土そのものの消失	地球温暖化の影響で最も深刻な問題の一つが海面上昇です。ベネチアのような歴史的な都市や、南太平洋の島国ツバルなどは、わずかな海面の上昇でも街が冠水したり、居住可能な土地が失われたりする危機に直面しています。これは二酸化炭素などの温室効果ガス削減が世界共通の課題となっている主要な理由です。
問13	答え 2 イスラム教	北アフリカや西アジアの国々で広く信仰されているイスラム教では、聖典コーランに基づき、特定の食べ物を口にすることが禁じられています。豚はその代表例であり、不浄な動物として食用が禁じられているため、これらの宗教が浸透している地域では豚肉を扱う料理店や豚の飼育農家がほとんど見られないという文化的な特色があります。ヒンドゥー教では牛が神聖視され食肉が制限されることがありますが、アルジェリアの文脈ではイスラム教の影響を考えるのが適切です。